

7月2日 六甲全山縦走 その4

蒲田 史

山名	六甲全山縦走（松尾寺）その4		山行名	7月例会			
ルート	六甲車道出会→水無山→岩倉山→宝塚駅						
山行日	7月2日		天候	曇りのち晴れ			
参加者	リーダー： 蒲田		サブリーダー： 幾田				
	男性： 佐々木 川田 宮内						
	女性： 牧之瀬 多田 森田 米田		合計： 9名				
ルート概略図 	コースタイム						
	地名		時：分	地名		時：分	
	六甲車道出合	車道出合	集	8：10	岩倉山	着	12：02
			発			発	12：30
	水無山	水無山	着	8：23	塩尾寺	着	12：48
			発			発	12：54
	太平山	太平山	着	9：55	宝塚駅	着	13：41
発			発				
岩原山	岩原山	着	11：16		着		
		発		発	11：20	発	

雨を心配していたが、梅雨の中休みの山行となった。

前回その3の縦走路は六甲山頂から少し下りた車道出会までだったので、今回は車道出合がスタートとなる。当初その出会までは前回同様、宝橋バス停からドライブウェイを歩く予定だったが、カーブの多い坂道、しかも交通量も多いことから、今回はバスではなく芦屋駅からタクシーで向かうことにした。ドライブウェイにはサイクリングで山頂を目指している人も少なくない。そんな方を尻目に私たちは楽々スタート地点に。

準備体操するスペースもほぼないので、各自で体操を済ませ、宝塚へ向かって出発。ほぼ下り道。少し登りがあり、また下る。地図を確認すると、1つ目の山、水無山を通過していた。（数少ないピークなのに。）そしてまた下る。結構岩も多い、急な下りも多い。1日で縦走するのなら、暗い中ヘッドライトつけてこの道を下るのは大変だなあ、と思いながら進む。宝塚方面から登って来る人も多い。

船坂峠を越えると幻想的な杉林に。程なく、大平山到着。ここは少し縦走路から離れるがせっかくなので寄ることに。山頂は眺望無いが、すこし過ぎたあたりで視界が開け、写真撮影。雲のため、背景は真っ白だったが、天気良ければ大阪湾が見えたはず。

途中「岩原山山頂まで三〇〇米 宝塚の最高峰」の立て札を見つける。300mなら行ってみようか、と最高峰の言葉に惹かれ全員で向かうことに。8分ほどで岩原山山頂に。立派な看板とともに記念撮影。12時前に予定通り岩倉山付近へ。ここは見晴らしが良く大阪湾もよく見える。昼食を摂るには暑すぎたので（このころ、曇っていた天気は快晴に。）山頂の日陰、お地藏さんの前で食事。その後、塩尾寺を過ぎると、宝塚市街が一望できゴールもすぐそこ。そして宝塚駅前前で完走の記念撮影。須磨駅から4回に分けた六甲全山縦走も無事終了した。

5時間40分 10.1km 上り380m 下り1164m

ヒヤリハット なし

感想文

神戸市街を俯瞰しながらアップダウンを繰り返す

佐々木康治

六甲全山縦走大会(56km)は 1975 年以来毎年数回開催され今まで延べ 20 万人以上の超人が完走している。今回木田さんが一般ピープルを対象に梅雨の晴れ間を縫って4/20、5/24、6/10、7/2と4回に分けて計画・実施。メンバーは毎回変わり、コースも変化に富み、時折眼下に神戸の街を鳥瞰、ノンビリペースで歩いていく。道間違いも幾たびか、その都度誰かの指摘や YAMAP の助けを借りて笑いながら修正していく。「本日のゴールまではあとは下りばかり」「あと 20 分ほど」などのガセ指令に不審を抱きながらも、歯を食いしばって足を進める。初回は延々と続く石段に悩まされ、**須磨アルプス**の馬の背がハイライト、2 回目は**掬星台**(きくせいだい)からの眺望が最高、3 回目は見晴らし抜群の**六甲最高峰**(931m)に到達、最終回は下りが主体でラクチン、ラクチン。ゴールの宝塚で全回歩き通した蒲田リーダーと汗だくのままの嬉しい two shot。宝塚駅での解散の際、他のメンバーは未踏の区間を他日絶対歩くぞと意欲満々。一世代以上若い新会員たちとの山行は若返りの特効薬。企画の木田さん、後を託された蒲田・幾田ペアには感謝の気持ちのみ。因みに「縦走とは山の峰と峰とを結ぶ稜線を歩くこと」、走ることは無関係、縦走大会では走ることは厳禁となっている。



宝塚最高峰 岩原山 573M



岩倉山付近からの眺め



ゴールはすぐそこ！



真っ白な背景(大平山過ぎた辺り)



六甲全山縦走ゴール！お疲れ様でした(^o^) 宝塚